

# 3期目における「対話と実行」の取組

～ 根本課題を再認識!! ～

[広報広聴課]

## 【趣旨、目的】

- 引き続き、「対話と実行」を県政運営の基本姿勢とし、知事が地域の現場に足を運び、地域の方々との率直な対話を通じて地域の実情を把握するとともに、地域の声を庁内で共有して県政に反映させる。
- 県勢浮揚に向けて、根本的な課題に官民協働で取り組む。

### 座談会



#### **New!!** テーマ毎に現場を視察し、意見交換を実施

<実施スタイル>

- 開催単位: テーマごと
- 開催手法: テーマに関連する現場の視察と関係者との意見交換会
- 開催回数: 年3回程度(1回当たり半日～1日)
- テーマの例

奥四万十博、教育現場、高齢者介護、療養病床、こどもの貧困対策、中山間の訪問看護、津波避難の現場、少子化対策、女性の活躍の場など

#### ポイント

- ・テーマ別に、より掘り下げた意見交換を行う
- ・県政課題に関連する現場を視察するとともに、意見交換会を開催し、関係者と議論を深める

### 行脚



#### **強化!!** なお一層、地域の声を聴く

<実施スタイル>

- 開催単位: 34市町村ごと
- 開催手法: 1市町村を原則1日かけて回る
- 開催回数: H28年3月から概ね3年間に、県内の全市町村を訪問
- 対象

①地域アクションプラン、②地域おこし活動、③あったかふれあいセンターなどの福祉活動、④中山間地域の集落、⑤南海トラフ地震対策などの防災活動、災害時危険地域、⑥インフラ整備の課題地域 など

- 懇親会: その日、お世話になった地域の関係者との懇親会を開催

#### ポイント

- ・多くの地域を回り、会ったことのない人と対話するなど、これまでの行脚スタイルをさらにバージョンアップ(充実、強化)
- ・県民との対話を県庁組織として、一層取り組んでいく